

東京札幌会だより

第47号 / 2016年12月発行
発行責任者 東京札幌会会長 金曾裕一



イラスト 工藤恒美

〈東京札幌会事務局〉
〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2丁目10番1号
東京交通会館3階
札幌市東京事務所内
TEL.03-3216-5090
FAX.03-3216-5199

◆ご挨拶◆

永遠に愛する私たちの街・札幌

東京札幌会会長 金曾裕一

故郷・札幌の街並みは、あの頃と大きく変わりましたが、彩り豊かな四季の風情と温かい人情は今も変わらず、私たちの心の支えとなっております。

東京札幌会も発足四十有余年、皆様とともに各種イベントを通して相互の懇親を図り、故郷の歴史、今、未来を語って参りました。あまりにも素敵で、誇らしい故郷・札幌は、私たちの強い絆の源流です。

皆様、一人でも多くの新たなお仲間を東京札幌会にお誘いください。そして、一緒にさまざまなイベントにご参加いただいて、元氣と勇氣を分かち合い、希望を語る会とすべく、今後とも、何卒ご協力、ご支援のほど、衷心よりお願い申し上げます。

東京札幌会のイベントなど活動の様子や、故郷・札幌の今を、常時、当会ホームページで紹介しております。ぜひご覧ください。

東京札幌会 「2017年新春のつどい」のご案内 (第41回総会・新年懇親会)

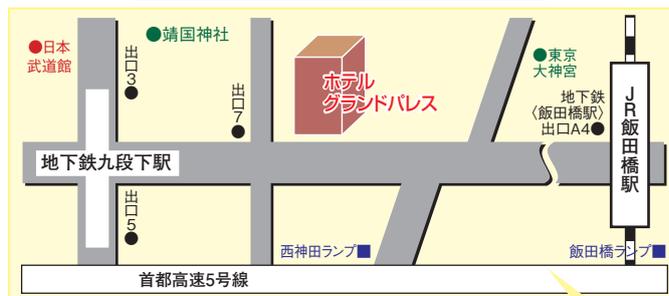
日時 2017年1月22日(日)午後1時30分～
※受付開始:午後1時～
会場 ホテルグランドパレス4階
「ゴールデンルーム」
※交通のご案内は下記の地図を参照下さい。
会費 8,000円 (非会員1名様につき9,000円)
※当日受付で年会費3,000円を合わせてお支払いいただけます。
※欠席の場合は、同封の郵便振込用紙にて、年会費3,000円をお支払い願います。

同封の返信ハガキで
「出欠のご連絡」を
1月7日(土)まで
にご投函願います。

- ★美味しい料理と飲み物を全員着席でご堪能ください!
- ★「新春演芸ショー」で笑う門には福来る!
- ★「お楽しみ抽選会」で素敵な景品を!
- ★故郷・札幌を想い、皆で歌おう!
- ★ **特別企画 PMFの感動をお届けします!**

—1990年に札幌に創設された国際教育音楽祭「パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)」。世界各地から選抜され、PMFに参加した若手音楽家(アカデミー生)が会場を訪れ、弦楽四重奏(クアルテット)を披露。次代のクラシック界を担う期待の演奏家たちの生演奏をお楽しみください!→ご紹介は2頁に。

【ホテルグランドパレスへのアクセス】



- ※地下鉄(九段下駅)より徒歩1分
東西線(専用)7番出口/東西線・半蔵門線・都営新宿線3番出口
- ※JR総武線・地下鉄(飯田橋駅)より徒歩7分
地下鉄有楽町線・南北線・都営大江戸線A4出口
- ※車:首都高速5号線(西神田ランプ)より1分、
(飯田橋ランプ)より5分

★楽しい競演! 新春演芸ショー



マリリンさん

15年にわたって舞台女優として活動後、マジシャン(パフォーマー)に転向。信条は、お客様との掛け合い漫才のような楽しいお笑いマジック。マジックと芝居落語(普通の落語より感情表現が大きく、所作の中にマジックを取り入れた幼児にもわかりやすい落語)で、地元・文京区を中心に、学校関係や地域の自治体のイベント、さまざまな施設などで公演。2009年5月には、中国・深圳で初の海外公演を行い、国境を越えて大好評を博した。



若木家元翁(わかぎやがんおう)さん

中学2年の終わりに人を笑わせる快感に目覚め、高校の落語研究会を経て、國學院大學(もちろん落語研究会)に入り、若木家元翁を襲名。同卒業後、話術を生かした営業職として活躍しつつ、サラリーマン落語家(あるいは落語家サラリーマン)として活動を続ける。高座歴四十数年を数え、今や東京札幌会のイベントに欠かせない存在に。

会場は前回同様、「ホテルグランドパレス」です。

- ・札幌から秋元克広市長も駆けつけてくださる予定です。
- ・企画・準備・進行などは東京札幌会役員一同がボランティアで取り組みます。
- ・ぜひ、お仲間もお誘いいただき多数ご参加ください。
- ・一同、皆様を心よりお待ちしております!

2016年イベント報告①

新春のつどい (総会・新年懇談会)

1月24日(日) / ホテルグランドパレス

1月24日(日)、年初の恒例イベント「新春のつどい」(第40回総会・新年懇親会)が開催され、千代田区のホテルグランドパレス2階「チェリー」に、百名を超える会員とご同伴者、秋元克広札幌市長をはじめとするご来賓の方々などが顔をそろえました。

午後1時30分、総会が開会。第1号議案「平成27年度事業報告・収支決算報告

および監査報告」、第2号議案「平成28年度事業計画案・収支予算案」が承認された後、第3号議案「役員改選」へと進行。2期目となる金曾裕一会長はじめ18名の役員の再任および、野呂綾子さん(監事)、奥園恵美子さん(幹事)の新任が承認され、とどこおりなく総会が終了しました。懇親会は、金曾会長の挨拶で始まり、札幌からお越しくださった秋元市長に

賓ご挨拶をいただいた後、協賛各社をご紹介。鈴木健雄札幌市議会議長に乾杯のご発声をお願いし、新春の宴が開幕しました。ホテルグランドパレスの美味しい料理と好みの飲み物を味わい、楽しい歓談のひとときを過ごした後は、ご出席の国会議員をご紹介。新入会員の自己紹介と挨拶へと続きました。

新春演芸ショーでは、ギター漫談のペロ中島さんがダイナミックな歌声を響かせ、明るい笑いでいっぱい。続いて登場したおなじみの囃家、若木家元翁師匠(当会会員)が、次々と繰り出す小咄で会場を大いにわかせました。

お楽しみ抽選会は、協賛各社ご提供の多彩な景品を、出席者の7割近くが手中にできる高い当選確率。さらに、会員寄贈のマチスの版画のスペシャル・オークションで盛り上がり、ファイナルは懐かしい故郷を想いながら全員で「ふるさと」を合唱。北海道ふるさと会連合会・高橋照美会長の中締めでお開きとなりました。

2017年の「新春のつどい」にも多数のご参加をお待ちしています。



↑ 百名以上の参加者が会場に集い、鈴木健雄札幌市議会議長の乾杯のご発声で新年懇親会がスタートしました。

← 秋元克広札幌市長(中央)を囲んで。左から、鈴木札幌市議会議長、ギター漫談のペロ中島さん、市長、囃家・若木家元翁さん、金曾会長。



↑ 楽しい宴の締めくくりは、懐かしい故郷・札幌への想いを込めて歌い上げる「ふるさと」。この後、北海道ふるさと会連合会・高橋照美会長(左端)に中締めをお願いしました。

2017年の新春のつどいにPMFの感動がやって来る!



毎年7月~8月、札幌芸術の森野外ステージで行われているPMFオーケストラのコンサートは、札幌の夏の風物詩ともいえるイベントの一つに。

パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)は、1990年、レナード・バーンスタインによって札幌に創設された国際教育音楽祭。以来、毎年7月~8月の約1カ月間、世界各地からオーディションで選抜されたクラシックの若手音楽家(アカデミー生)が札幌に集い、世界的指揮者や欧米メジャー・オーケストラの首席奏者らの指導を受けます。これまでにPMFが送り出したアカデミー生は、世界75カ国、述べ3,300人を超え、その多くが世界の主要オーケストラのメンバー、室内楽奏者、ソリストとして活躍。また、PMFはクラシック音楽を通じた地域貢献、多彩な演奏会によるクラシック音楽の普及にも努め、2017年も札幌各所、道内各地、東京(8月1日、東京文化会館)、川崎(7月31日、ミュゼ川崎)などでの公演を予定。2017年の新春のつどいでは、4名のPMFアカデミー生による素晴らしい演奏をお届けします。

2016年イベント報告② 春の新企画「江戸の落語を楽しみ蝦夷を味わう会」篇

★5月14日(土) 正午

場所 「北海道飯田橋駅前店」

春にもイベントを行い、多くの会員にご参加いただきたいと願った新企画「江戸の落語を楽しみ、蝦夷(北海道)を味わう会」が、ゴールデンウィーク明けの5月14日(土)に開催されました。これは、当会員でもあり、さまざまなイベントに欠かせない存在となっている噺家・若木家元家師匠に本格的な江戸の落語をじ



↑↓芸歴四十数年のベテラン噺家、若木家元翁さんが、趣の異なる古典落語2席を披露。磨かれた話芸を堪能しました。



↑2014年の新春のつどいでは、スタイリッシュな黒のコスチュームで、はつらつと歌った千弦家こまりさん。今回は江戸情緒を漂わせる渋い着物姿で、時にしっとり……。



つくりお聴かせいただき、さらに、北海道の食を味わいながら懇親の宴も楽しめるといふ、ちよつと欲張りな企画。当日は、60名近くの会員、同伴者などが会場の居酒屋「北海道飯田橋駅前店」に集い、大盛況となりました。
正午過ぎ、コンパクトな高座をしつらえた座敷(大広間)は大入り満員。助演の千弦家こまりさんが陰で爪弾く三味線のお囃子が流れ、元翁さんが登場すると、「待ってました!」「たっぷり!」の掛け



↑高座を終えた二人を交えて、これからは「蝦夷(北海道)を味わう会」を楽しみましょう! 窓の外には、20階からの素晴らしい眺望が広がっています。
→札幌市東京事務所の皆さんがご挨拶。右から金谷所長、諏佐副所長、北川課長、小泉さん。



声。最初の演目の古典落語「やかん」で、ご隠居さんと長屋の八五郎のとほけた会話の応報に、まずはひと笑い。続いて、三味線を手に現れた千弦家こまりさんの粹な端唄、都々逸を交えた俗曲の数々に手拍子で盛り上がる一幕も。配られたキヤラメル入りの「大入り袋」と缶入りのお茶でノドを潤した後、再び元翁さんが登場。2席目の「阿武松(おうのまつ)」では、江戸時代の横綱にちなむ古典落語を味わい豊かに語り、大いに笑わせてく

だきました。

1時間余りの番組(プログラム)を堪能し、熱気いっぱいのはなはな、引き続きの宴会に転換。北海道産四元豚、男爵のじゃがバターなど、道産食材のメニューを味わい、タップリの飲み放題に、ますます会話がはずみます。飯田橋駅上、セントラルプラザ20階の会場は見晴らし抜群で、落語と俗曲、宴席での懇親とともに都会の眺望も存分に楽しみ、朗らかな気分の一日常になりました。

酒遊味楽
あ家

落ち着いた
雰囲気の中で
季節の味を
ゆつくりと
お楽しみ下さい

藤井 雄治
(北高9期)

TEL. & FAX.03-3293-2318

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-54

【営業時間】ランチ 11:00~14:00 17:00~22:30

【休業日】日曜・祝日

東京メトロ・半蔵門線、都営地下鉄・三田線・新宿線
「神保町駅」A5出口より4分

2016年イベント報告③ 「暑気払いビール会」はやっぱり恵比寿で開催篇

★7月30日(土) 正午

場所 「ビヤステーション恵比寿」

真夏の恒例イベント「暑気払いビール会」が7月30日(土)、恵比寿ガーデンプレイスのレストラン「ビヤステーション恵比寿」2階のワンフロアを東京札幌会貸し切りで開催されました。

猛暑のさなか、札幌にゆかりの仲間と

→山木さんは今回、「ブラボーサッポロ／蝦夷戯れ歌」(山木康世作詞・作曲)のスペシャルCDを参加者全員にプレゼントしてくださいました。



↓山木康世さんが歌い上げる「ブラボーサッポロ」の歌詞をよく味わって……いざ、「カンパ〜い！」。

↓浴衣姿で小咄を披露してくれた若木家元翁さん(前列中央)、俗曲の千弦家こまりさん(同右端)を囲んで。



↑サッポロ生も、エビス生も、エビス〈ザ・ブラック〉も、今日は存分に飲み放題。美味しく、楽しくて、私たちのビールは、やっぱり「サッポロ」です！

→ここ数年、続けて参加している札幌西高11期の皆さん。



←札幌市東京事務所から7名の職員が参加。金谷所長(前列右端)が札幌の近況などを報告してくださいました。

↓たとえ初めて顔を合わせた人同士でも、札幌のご縁と、ビールの力で、たちまち和気あいあいに。



↑サッポロビールの横井取締役役に中締めをお願いしました。



美味いビールを酌み交わしながら、懇親のひとつときを楽しむ企画は人気が高く、3年連続の開催となったサッポロビールの本社所在地、恵比寿のビアホールに、今年は約90名が集いました。

正午に開会。冒頭の金曾会長の挨拶に続いて、ビールの街・札幌の乾杯ソング「ブラボーサッポロ」を上田文雄前札幌市長とともに作ったシンガーソングライター(当会会員)の山木康世さんがステージに。ショートバージョンの乾杯ソングの原曲(オリジナル・ロングバージョン)を5番まで歌い上げ、最後に皆で声を合わせて「ブラボー サッポロ」と乾杯。飲み放題の宴の開幕です。

待ちかねた乾杯の合図とともに、渴いたノドに流し込んだ出来立ての生ビールは最高の味わい。サッポロ生、エビス生、元翁さんのキレのいい小咄で、会場はいつそう和やかなムードに。そして、今回、金谷学所長をはじめとする7名の職員が参加してくださった札幌市東京事務所の皆さんから、インフォメーションとご挨拶がありました。全員参加のミニ・クイズ大会(景品数までの勝ち残り方式)で正解を重ね、景品をゲットした人は、ますます笑顔がこぼれます。ほどよく酔いの回った多くの皆さんの陽気な恵比寿顔が会場に満ちて、いよいよ宴もたけなわに。当会会員でサッポロビール(株)取締役執行役員・横井成尚氏の中締めでお開きとなりました。

2017年の暑気払いビール会にも、ぜひ多数ご参加ください！

2016年イベント報告④ 目指せ日本一！ 勢いづくファイターズを熱く応援篇

★9月1日(火)
対東北楽天ゴールデンイーグルス
場所 「東京ドーム」

恒例イベントの一つとして定着している東京ドームでの北海道日本ハムファイターズの応援ツアーが、今年も9月に開催されました。毎回好評をいただいている、お得なプレミアムビューッフェ付きプランに、今回も50名を超える参加者がありました。

当日は、21番ゲート内の設置ブースで、「2017冬季アジア札幌大会」と「オ

→試合開始前のマウンドには、ファーストピッチセレモニーを行う浅田舞さんとともに、「2017冬季アジア札幌大会」をPRする横幕を掲げた札幌市東京事務所の職員の姿が。今年も、東京札幌会から、持ち込みのできる紙バック入りの飲料(ワインと焼酎)の差し入れがあり、皆さんにゆっくりにとお楽しみいただきました。



↓札幌市の観光PRイベントを終え札幌市東京事務所と合流。挨拶の言葉を交わし、改めましてお伝えしました。



↓ビューッフェ会場からスタンド席に食事や飲み物を持ち込み、真剣に観戦する人も多数。初めての野球観戦でも仲間がいると安心です。



↑5回表まで0が並んだスコアボードは、5回裏からのファイターズの猛攻で、8対0の完封Xゲームに。来シーズンも大活躍が期待されます。

1タムフェスト2016」の札幌市観光PRを実施。試合開始前の6時過ぎ、マウンドには札幌市東京事務所の皆さんとともに、「2017冬季アジア札幌大会」のPRアンバサダーを務める浅田舞さんと公式マスコットのエゾモンが登場し、浅田さんがファーストピッチセレモニー(イベントとしての最初の一投のパフォーマンス)を行いました。

この日、パ・リーグ首位のソフトバンクに0.5ゲーム差に迫るファイターズは、3番に指名打者(DH)・大谷翔平、4番は中田翔、ピッチャー・増井浩俊

というラインナップ。そして6時30分重要な一戦がスタート。東京札幌会の応援ツアーでは、3年連続でファイターズが勝っている、「ぜひ今年も……！」と力が入ります。

ビューッフェでお腹を満たして、ラウンジからスタンド席に移動し、ビール片手に応援に励む人、試合を横目に仲間との歓談に盛り上がる人など、観戦&応援はそれぞれのスタイル。毎回、参加したごなたにも、お楽しみいただいています。

試合は、増井の好投と、中田(5回スリランと7回の2打席連続)、レア

ド(6回ソロ)のホームランなどが相まって、8対0の完封Xゲーム(当会観戦時の対戦成績は6勝3敗に)。見事勝利を取めたファイターズは、この勢いそのまま突き進み、4年ぶりのリーグおよびクライマックスシリーズ優勝、そして、10年ぶり3度目の日本一に輝きました。

2年連続日本一を目指し、ますます注目を集めるファイターズ戦に、次回も多くの皆様の参加をお待ちしています。

北海道日本ハムファイターズ
バリーグ公式戦 東京ドーム
シーズンシート2017

ダイナミックシート	¥85,000	特典多数! ※詳しくは球団ホームページをご覧ください。
スーパーロイヤルシート	¥70,000	
プラチナシート	¥65,000	試合日程
エキサイトシート	¥65,000	
エキサイトEASYシート	¥65,000	4月 20日(木) vs. オリックス・バファローズ
ゴールドシート	¥52,000	5月 12日(金) 13日(土) 14日(日) vs. 千葉ロッテマリーンズ
ロイヤルシート	¥45,000	7月 3日(月) 4日(火) vs. 埼玉西武ライオンズ
パノラマラウンジ	¥45,000	9月 7日(木) vs. 東北楽天ゴールデンイーグルス
ブロンズシート	¥42,000	
スカイブルーシート	¥34,000	

※表示価格は1席の税抜価格です。

株式会社 北海道日本ハムファイターズ 首都圏事業部
お問い合わせ TEL: 047-446-5586 FAX: 047-446-7784
http://www.fighters.co.jp/ 〒273-0118 千葉県鎌ヶ谷市中沢459番地

2016年イベント報告⑤

新企画第二弾「歌に札幌を想い、北の秋味を楽しむ会」篇

★11月6日(日) 正午

場所 「Aoyuzu 恵比寿」

第3回を迎えた秋のイベントは、札幌出身のシンガーソングライター(当会会員)の山木康世さんのミニライブ&北の秋の味覚(飲み放題付き)を堪能しようという企画。会場の恵比寿のレストラン「アオユズ」には、会員、ゲストなど60名以上が集まりました。

11月6日(日) 正午、金曾会長との挨拶の後、札幌市東京事務所・諏佐寿彦副所長の乾杯のご発声で、ランチビュッフェ

がスタート。北海道の食材を使ったサラダや肉料理、鮭とイクラの生ちらし寿司などを味わいながら、ビールやワインなどの好みの飲み物をいただき、仲間との会話がはずみました。

お腹も落ち着いたところで、いよいよ山木さんのミニライブ(第一部)が開幕。札幌の青春時代を想う「花紅柳緑(ハナハクレナイヤナギハミドリ)」、ふきのとう時代の「白い冬」、海援隊・武田徹矢さんとのコラボレーションで大ヒットした「思えば遠くへ来たもんだ」など、自作の歌の数々を歌い上げました。

休憩のデザート(スイーツ)タイムでは、「月寒あんぱん」「わかさいも」「べこもち」など、懐かしい北海道銘菓に歓声上がり、何種類ものお菓子を盛ったプレートはたちまちカラになりました。

会場の音響が不調で、音が届きにくい場所があったため、第二部では、かぶりの席を特別にご用意。希望者は最前列に集まってもらい、思い出深い歌、新しい歌を折り交ぜた「山木節」をじっくり聴いていただきました。アンコールでは、おなじみの「ブラボースァッポロ」に合わせて、全員で元気に

「カンパ〜イ!」「カンパ〜イ!」と、盛り上がりは最高潮に。熱く札幌への想いを歌い上げた山木さんのミニライブと、北海道の味わいをタップリとお楽しみいただきました。

そして、お帰りには、じゃがいも(男爵&キタアカリ)、ひとくちスイーツ(谷田のファイターズびびだんご&北海道サイコロキャラメル)のお土産もプレゼント。楽しい時間の余韻を胸に、去り難い思いの有志多数は2次会へと流れ、恵比寿ゆかりのサッポロビールを心ゆくまで味わった模様です。



←秋の新企画は“食と文化のコラボレーション”がテーマ。一昨年のスペイン料理、昨年のカジュアル・イタリアンに続き、今回は北の大地の秋味(“鮭”に限らず、豊かな実りの味わい)をコンセプトに、飲み放題付きでお楽しみいただきました。



←昨年の秋のイベントで本場イタリア仕込みのソプラノを聴かせてくださったプロの音楽家、福崎芳枝さん(当会会員、役員)。今回は、お帰りの皆さんへのお土産の配付など、スタッフとして運営のサポートにあたりました。



山木康世
Yasuyo Yamaki

シンガーソングライター

1950年10月、札幌市生まれ。

3歳から虻田郡真狩村美原で過ごし、小学3年で札幌に戻る。曙小学校~平岸中学校~月寒高校~北海学園大学(工学部土木工学科)に学び、大学在学中に音楽活動を始める。1974年、フォークグループ(細坪基佳さんとのデュオ)「ふきのとう」としてシングル『白い冬』でデビュー。以後、『雨降り道玄坂』『風来坊』『柿の実色した水曜日』『春雷』『やさしさとして思い出として』『ひとりの冬なら来るな』『海援隊』に提供した『思えば遠くへ来たもんだ』などの多数のヒット曲で全国的人気を得る。1992年に「ふきのとう」を解散し、ソロ活動を開始。ライブ、コンサート、アルバム制作などの活動を多彩に展開してきた。

2012年5月、ソロ20周年記念コンサート開催。

2014年9月、音楽生活40周年記念コンサート開催。

2016年6月、最新CD「水の底に映った月」発売。

趣味は、ギター弾き、パソコン、読書、写真。

モットーは「シンプルイズベスト」。詞に重きを置き、世代を超えて皆が口ずさめる歌を目指している。

→会場は昨年の秋のイベントと同様の恵比寿駅前のレストラン「アオユズ」。スタイリッシュなフロアの一角をライブハウス風のステージに見立て、準備を整えました。

↑第二部から、特別にかぶりつきの席をご用意しました。手拍子と一緒に歌うシーンも。

札幌市東京事務所より

札幌市東京事務所 副所長 諏佐寿彦

東京札幌会の会員の皆様には、故郷・札幌の首都圏応援団として、日々精力的にご活動いただいておりますことに心より感謝を申し上げます。

私は、本年4月に副所長として着任いたしました。2回目の東京事務所勤務となりますが、前は2005年4月から3年間在籍し、東京札幌会の担当もさせていただきました。2007年2月には、東京札幌会設立20周年を記念して、ノルディックスキー世界選手権札幌大会を応援するため、里帰りツアー実施し、故郷・札幌の地で、20名程の会員の皆様と楽しいひと時を過ごさせていただきました。つい先日の出来事のように記憶が甦ってきます。今回も、札幌市を盛り上げるため、微力ではありますが皆様方とともに精一杯頑張っ参りますので、引き続き、ご指導ご鞭撻をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

今年の北海道は、例年になく多くの台風が上陸し、道内各地に甚大な被害をもたらしました。一方、スポーツ界では、皆様の応援のお蔭で、北海道日本ハムファイターズが2006年以来10年ぶりの日本一に、さらに、北海道コンサドーレ札幌もJ2優勝と、そろって輝かしい成績を収め、札幌そして北海道全体に勇気と希望を与えてくれました。

また、現在、札幌市では、2026年冬季オリンピック・パラリンピックの招致を目指して、さまざまな取り組みを行っており、先般、JOCに開催提案書を提出させていただいたところです。このオリ・パラ招致を成功させるためには、首都圏における活動が不可欠となりますので、会員の皆様には特段のご理解とご協力をいただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

続きまして、私と同じく本年4月に東京事務所に着任した職員からご挨拶をさせていただきます。

【シティセールス担当課長 北川雄次郎】

皆様、こんにちは。私の担当するシティセールスの仕事では、東京札幌会の皆様をはじめとして、企業訪問などで、札幌に縁にある方に、よくお目にかかります。その際、「東京で暮らしているからこそ、“新鮮で美味しい道産食”はもちろん、北海道や札幌の“都市と自然の調和感”がもたらす“ゆったりとした時の流れ”“人混みの少ない場所”“からっと爽やかな気候”の良さを感じる」といった会話になり、改めて札幌の魅力を再認識しているところです。このようなお声を励みに、東京で札幌の良さをPRして参りたいと考えています。引き続き、金曾会長をはじめ東京札幌会の会員の皆様のみますますのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【連絡担当係長 坂東一将】

皆様、初めまして（……あっ、暑気払いビール会でお会いした方もいらっしゃるね）。私は、札幌市中央卸売市場か



↑札幌市東京事務所職員一同。前列左から、菊田昭子さん、諏佐寿彦副所長、金谷 学所長、北川雄次郎担当課長、藤田早也香さん。後列左から、横糸昌典さん、板垣綾香さん、櫛山浩之さん、足立和陽さん、藪谷宣彦さん、坂東一将さん、四方 学さん、小泉憲太郎さん。

【札幌市東京事務所のホームページ】

<http://www.city.sapporo.jp/somu/tokyo/index.html>

ら東京事務所に赴任した「ばんどう・かずまさ」と申します。主な仕事は、関係省庁、特に総務省との連絡調整と情報収集です。生まれてから40年間、一度も札幌市以外に住んだことがなかったので、土地勘をつけるため、着任後の4月の休日は、永田町や霞が関を歩き回りました。その結果、歩くことが趣味になり、9月には、職員住宅のある港区から徒歩で5日間かけ、富士山に登頂して参りました。たくさんの方々との「出会い」と「つながり」を大切にしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【シティセールス担当係長 藪谷宣彦】

皆様、こんにちは！ 私は、生まれてから高校卒業までを静岡市で過ごし、大学進学を機に札幌で暮らすようになりました。東京事務所では、大好きなまち、札幌の魅力をPRしています。7月には、暑気払いビール会に参加させていただき、さまざまな分野でご活躍されている皆様の興味深いお話や、それぞれお感じになられている札幌の魅力をうかがうことができ、とてもいい刺激をいただきました。9月のファイターズ応援ツアーでは、「冬季アジア札幌大会」のPRのイベントのため、同じ東京ドームにしながら皆様とお会いすることができませんでしたが、これからも、東京札幌会のイベントに参加をさせていただきたいと思っております。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

【特別滞納整理担当係長 小泉憲太郎】

東京札幌会の皆様、いつも大変お世話になっております。私は、東京事務所では、東京札幌会事務局の担当であるとともに、東京都区内における札幌市税の納税業務を担当しています。着任当初は、東京の暑さ、人混みに困惑しましたが、今ではすっかり慣れ、東京だからこそ感じるこのことのできる、古くからの日本文化や、世界同時進行の最先端の文化・情報までを間近に感じることができ、とても刺激的な日々を過ごしています。皆様との交流を通して、故郷・札幌を想いながらも、札幌では得ることのできない貴重なご意見、ご示唆を頂戴させていただき、今後の自分自身の糧にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様、東京札幌会を、どうぞよろしく！

～東京札幌会役員一同～

※任期は2018年1月31日まで

- 会長** 金曾裕一 (かねそ・ゆういち)
副会長 松代洋子 (まつしろ・ようこ)
幹事長 秦 豊昭 (はた・とよあき)
幹事 池谷 武 (いけや・たけし)
 ※五十音順
 岩浪久美 (いわなみ・くみ)
 奥園恵美子 (おくぞの・えみこ)
 河部克博 (かわべ・かつひろ)
 工藤章宣 (くどう・あきのり)
 古村恭子 (こむら・きょうこ)
 高橋和敏 (たかはし・かずとし)
 道見由貴 (どうみ・ゆき)
 秦 美代 (はた・みよ)
 福崎芳枝 (ふくざき・よしえ)
 三原有二 (みはら・ゆうじ)
 宮永明子 (みやなが・あきこ)
 山中茂樹 (やまなか・しげき)
 横館英雄 (よこだて・ひでお)
監事 佐々木昭雄 (ささき・あきお)
 野呂綾子 (のろ・あやこ)
顧問 渡辺 拓 (わたなべ・ひろく)

東京札幌会★2017年の主なイベント予定～恒例イベントを中心に～

- ★1月22日(日)午後1時30分～ ※本誌1頁参照
2017年「新春のつどい」(第41回総会・新年懇親会) ホテルグランドパレス
 - ★7月下旬頃 「暑気払いビール会」
 - ★9月7日(木) 「東京ドーム“ファイターズ”応援ツアー」
 - ★10月～11月頃 秋のイベント(味覚と文化を楽しむ会など)
 - ★12月上旬頃 会報「東京札幌会だより」第48号発行
- ※新規企画等は詳細が決まり次第、お知らせする予定です。
- 【ホームページもご利用ください!】** ※新しいアドレス(URL)に変わりました。
 (旧) <http://tokyosapporokai.sharepoint.com/>
 → (新) <http://www.tokyosapporokai.com/>

同封の振込用紙で2017年度年会費(3,000円)の納入を よろしく申し上げます。

※本誌1頁にご案内のように、2017年「新春のつどい」にご参加の方は、当日、受付で「新春のつどい」参加費(8,000円)とともに年会費を納入いただけます。なお、「新春のつどい」不参加の方は、できるだけ速やかに年会費をお振り込みいただけますようお願いいたします。

会計報告(2016年度収支予算案)

単位:円

項目		2016年度予算	2015年度決算
収入	前年度繰越金	461,599	441,612
	年会費	510,000	540,000
	総会費	600,000	720,000
	イベント参加費	900,000	1,000,000
	広告収入	100,000	50,000
	雑収入	100,000	100,000
	収入計	2,671,599	2,851,612
支出	総会費	750,000	850,000
	イベント費	900,000	901,612
	会報発行費	175,000	170,000
	他ふるさと会費	100,000	100,000
	会議費	90,000	90,000
	通信費	80,000	90,000
	事務費	120,000	120,000
予備費	30,000	30,000	
支出計	2,245,000	2,351,612	
次年度繰越金		426,599	500,000
合計		2,671,599	2,851,612

※2016年1月24日(日)第40回総会にて承認済

巡り会うもの、巡り会うとき
 ―編集後記に代えて―

今年5月の新企画(春のイベント)に現れたのは、30年以上も前の数年間、札幌で親しい時間を過ごしていたひと。突然、タイムカプセルが開いたような、びびりポイントの感動的な再会でした。毎年、たくさんの人と出合い、新たなつながりが始まりました。いつしか途切れてしまったりしながら歳月を重ねてきました。近頃は、時を経てまた巡り会う、ご縁の不思議さを感じることもしばしば。ふるさと会という巡り会いの糸口を、これからも大切にしていきたいと思っています。最後にになりましたが、広告掲載にご協賛いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

(道見由貴/広報担当幹事)



北海道食べる通信は 食べものの付きマガジンです。

2カ月に一度発行 /

3,980円

北海道を読んで食べる!
会に行きたくなる食物語を
お届けしています。

1号あたり(税・送料込)
※道内発送3,500円

北海道食べる通信

検索

<http://taberu.me/hokkaido/>



年6回発行(隔月)
タブロイド版16ページ

お申し込みはWEBまたはメールにて